

# 地域のもりから学ぶ森林づくり 2015

## 「森林の生物多様性を学ぶ」 第三回森林教室



第3回森林教室は、7月22日（水）、定山溪中学校の生徒と定山溪の地域の方々を対象に石狩森林管理署管内国有林2115林班で実施しました。

今回は、『定山溪の森林を知る・森林を育む』をテーマに、森林の維持管理等の目的について学ぶこととしました。

苗木の植栽後、下刈り、除伐などの保育作業を行ってきた植栽木は、成長して枝も付いてきます。この枝は、周囲の植栽木と重なり合い、放置しておくとも林内が暗くなり、下枝が枯れて害虫が侵入してくるようになります。そこで、枝の付け根から切る「枝打ち」作業を行います。

枝打ちをすることにより、将来、節の少ない優良な木材となります。木材として利用できるまでに樹木を育てるには、長い年月と多くの手間が掛かります。

今回、皆さんが行った枝打ちは、森林を育むための作業の一つです。

参加者全員が、気持ちのいい汗を流しながら作業を進め、ノコギリの扱いにも慣れた頃、林内に光が差し込み、樹木が健康に育つ良い環境となりました。

みなさん、お疲れさま、きっといい森林になりますよ。

休憩後、平成22年から毎年定山溪中学校の生徒が植えている植栽木の成長量調査を行いました。

野生動物の食害にあたりしている植栽木もありますが、着実に成長している植栽木もありました。



早く、大きく成長して欲しいですね、

今後の日程

○ 9月14日（月曜日）

第4回森林教室

もりを育てよう、

緑化活動など